



AWS 決定ガイド

Amazon Lightsail、 AWS Elastic Beanstalk、 または Amazon EC2 ?



Amazon Lightsail、AWS Elastic Beanstalk、または Amazon EC2 ?: AWS 決定ガイド

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、Amazon のものではない製品またはサービスと関連付けてはならず、また、お客様に混乱を招くような形や Amazon の信用を傷つけたり失わせたりする形で使用することはできません。Amazon が所有しない商標はすべてそれぞれの所有者に所属します。所有者は必ずしも Amazon と提携していたり、関連しているわけではありません。また、Amazon 後援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

決定ガイド	1
序章	1
相違点の詳細	6
使用アイテム	11
ドキュメント履歴	14
.....	xv

Amazon Lightsail、AWS Elastic Beanstalk、または Amazon EC2 ?

違いを理解し、自分に合ったものを選択する

目的	Amazon Lightsail、AWS Elastic Beanstalk、または Amazon EC2 がクラウドプラットフォームまたはコンピューティングウェブサービスのニーズを満たすかどうかを調査します。
最終更新日	2025 年 2 月 17 日
対象サービス	• Amazon Lightsail • AWS Elastic Beanstalk • Amazon EC2

序章

アマゾン ウェブ サービス (AWS) は、クラウドプラットフォームまたはコンピューティングウェブサービスのニーズを満たすサービスを提供します。互いに一緒に検討されることがよくある 3 つのサービスは次のとおりです。

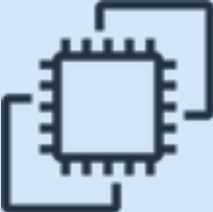
- Amazon Lightsail — ウェブサイトやウェブアプリケーションの構築に役立つように設計された一連のコアサービス。仮想サーバー、HTTP ロードバランシング、マネージドデータベース、パブリックコンテナデプロイ、コンテンツ配信ネットワーク (CDN)、DNS 管理、ドメイン登録など、いくつかの基本的なサービスを備えたシンプルな統合プラットフォームが必要 Lightsail かどうかを検討してください。Lightsail は固定および予測可能な月額料金を提供します。
- AWS Elastic Beanstalk — ウェブアプリケーションとサービスのデプロイ、管理、スケーリングを容易にするサービス。Python、Java、PHP、Node.js、Ruby、.NET、Go など、いくつかのプログラミング言語をサポートしています。Elastic Beanstalk を使用すると、アプリケーションコードをアップロードするだけで、Amazon EC2 インスタンス、ロードバランサー、データベースなどのリソースのプロビジョニング、自動スケーリング、モニタリングなど、基盤となるインフラストラクチャが AWS 処理されます。RDS、Amazon S3、CloudWatch などの AWS サービスとの組み込み統合を提供します。Elastic Beanstalk は制御と自動化のバランスを提供し、デベロッパーが運用オーバーヘッドをオフロードしながらインフラストラクチャをカスタマイズできるようにしま

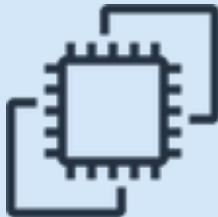
す。Elastic Beanstalk に対する追加料金はありません。アプリケーションを保存して実行するために作成したリソース (Amazon EC2 インスタンスや Amazon S3 バケットなど) に対して AWS 料金が発生します。

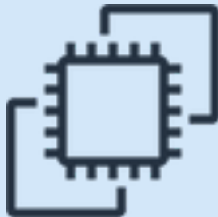
- Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) — アプリケーションの開発、デプロイ、スケーリングを高速化することを目的として、オンデマンドでスケーラブルなコンピューティング性能を提供する AWS サービス。これを使用して、必要な数のコンピューティングインスタンスを起動したり、セキュリティとネットワークを設定したり、ストレージを管理したりできます。より大きなインスタンス (最大数百のコアと数千の GiB メモリ) をプロビジョニングするか、小さなインスタンスの負荷分散クラスターをプロビジョニングすることで、容量を追加することもできます。要件に応じて、いくつかの異なる料金モデルを使用できます。

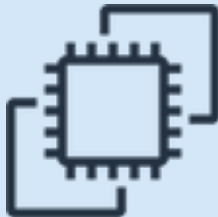
Lightsail、Elastic Beanstalk、Amazon EC2 のいずれかを選択するときは、ワークロードの将来の成長と AWS、環境をどのように成長させるかを念頭に置いてください。今後のデプロイで、Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)、Amazon DynamoDB、AWS のサービス などの高度なネットワークまたは との統合が必要な場合は AWS Lambda、Amazon EC2 の使用を強く検討する必要があります。

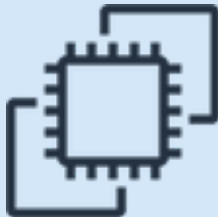
これらのサービスの主な違いの概要を次に示します。

	 Amazon Lightsail	 (Elastic Beanstalk)	 Amazon EC2
インスタンスサイズ	512 MiB ~ 64 GiB の RAM、2 ~ 16 vCPUs の複数のインスタンスタイプ。詳細については、以下の 相違点セクション のコンピューティングおよびブロックストレージタブを参照してください。	0.5 GiB ~ 24 TiB の RAM、1 ~ 448 vCPUs の 400 以上のインスタンスタイプ。	0.5 GiB ~ 24 TiB の RAM、1 ~ 448 vCPUs の 400 以上のインスタンスタイプ。

	 Amazon Lightsail	 (Elastic Beanstalk)	 Amazon EC2
ブロックストレージ	インスタンスあたり最大 640 GB の事前設定済みディスク (ストレージサイズはインスタンスタイプに関連付けられます)。可変料金で最大 16 TB の追加ディスクをアタッチします。	Amazon EBS ボリューム 1 ボリュームあたり最大 64 TB。ボリュームあたり最大 64,000 の 1 秒あたりの入出力オペレーション (IOPS) (ストレージサイズはインスタンスタイプに依存しません)。	Amazon EBS ボリューム 1 ボリュームあたり最大 64 TB。ボリュームあたり最大 64,000 の 1 秒あたりの入出力オペレーション (IOPS) (ストレージサイズはインスタンスタイプに依存しません)。
アプリケーション設計図	WordPress、Magento、Drupal、Node.js など、35 個の事前設定されたブループリント。	Amazon Linux (Docker、Go、Java、Ruby、Python、.NET core、Tomcat) 上の多数のマネージドプラットフォーム、および Windows Server 上の .NET/IIS。	の一般的なオペレーティングシステムと、事前設定されたソフトウェアとサービス AWS Marketplace。

	 Amazon Lightsail	 (Elastic Beanstalk)	 Amazon EC2
コンテナのサポート	データ転送を含む固定月額コストでパブリックコンテナイメージを簡単にデプロイできます。	個々の Docker コンテナ、Docker Compose を使用した複数のコンテナ、Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS) をサポートします。	セルフマネージド Docker または Kubernetes を使用して Amazon EC2 でコンテナワークロードをネイティブに実行するか、Amazon ECS、Amazon EKS、AWS Fargate AWS App Runner、AWS Elastic Beanstalk Lambda などの個別の AWS コンテナサービスにコンテナをデプロイします。
データ転送	大量のデータ転送割り当ては、すべての Lightsail コンピューティングインスタンスの固定月額料金に含まれています。	柔軟な料金階層で GB あたりのデータ転送 (出力) 料金を支払い、進入トラフィックのコストはかかりません。	柔軟な料金階層で GB あたりのデータ転送 (出力) 料金を支払い、進入トラフィックのコストはかかりません。

	 Amazon Lightsail	 (Elastic Beanstalk)	 Amazon EC2
ロードバランシング	少量のウェブトラフィック (1 時間あたり最大 5 GB) に対する HTTP/HTTPS の基本的な負荷分散。	HTTP、HTTP S、TCP、UDP、ヘルスチェック、自動スケーリングなど、あらゆる種類のネットワークユースケースに対応する柔軟な負荷分散。	HTTP、HTTP S、TCP、UDP、ヘルスチェック、自動スケーリングなど、あらゆる種類のネットワークユースケースに対応する柔軟な負荷分散。
CDN サポート	固定月額料金 (最初の 1 年間は 1 か月あたり最大 50 GB) で Lightsailソースからのグローバルコンテンツ配信。	Amazon CloudFront 統合は、Amazon EC2 AWS または他の外部ソースからの柔軟なコンテンツ配信を GB 単位で提供します (最初の 1 年間は 1 か月あたり 1 TB が含まれます)。	Amazon CloudFront 統合は、Amazon EC2 AWS または他の外部ソースからの柔軟なコンテンツ配信を GB 単位で提供します (最初の 1 年間は 1 か月あたり 1 TB が含まれます)。
パフォーマンス	2 ~ 8 vCPUs (1 ~ 4 コア) と 512 MiB ~ 32 GiB のメモリから選択します。	単一の共有 CPU コアから数百の CPU コア、および 1 ~ 1000 GiB のメモリへの無制限のスケーリング。	単一の共有 CPU コアから数百の CPU コア、および 1 ~ 1000 GiB のメモリへの無制限のスケーリング。

	 Amazon Lightsail	 (Elastic Beanstalk)	 Amazon EC2
料金	固定および予測可能な月額料金。	追加料金はかかりません AWS Elastic Beanstalk。アプリケーションを保存して実行するために作成した AWS リソース (Amazon EC2 インスタンスや Amazon S3 バケットなど) に対して料金が発生します。	pay-per-use、またはコミットベースの料金。

相違点の詳細

Lightsail、AWS Elastic Beanstalk、Amazon EC2 の違いを 6 つの領域で調べます。これらは、使いやすさ、コンピューティングおよびブロックストレージ、コンテナデプロイ、ロードバランシング、コンテンツ配信ネットワーク、マネージドデータベースのサポートを対象としています。

Ease of use

使いやすさ

Lightsail は、ウェブサーバーとデータベースベースのアプリケーションをデプロイするための一連のコアサービスを提供し、ロードバランシング、コンテナ、コンテンツ配信ネットワーク (CDN)、DNS 管理、ドメイン登録をサポートしています。また、一連のアプリケーションブループリントから選択して、WordPress サイトや LAMP スタックアプリケーションなどの標準アプリケーションをデプロイすることもできます。Lightsailは、シンプルなウェブサイトやアプリケーションの要件を持つ組織や、固定された予測可能な月額料金を希望する組織に適しています。

一方、Elastic Beanstalk は、ウェブアプリケーションをデプロイおよびスケーリングするためのより柔軟なサービスです。複数のプログラミング言語とウェブサーバーをサポートし、容量のプロビジョニング、ロードバランシング、自動スケーリング、アプリケーションのヘルスマモニタリングを自動的に処理します。Elastic Beanstalk は RDS や CloudWatch などの他の AWS サービスとシームレスに統合されるため、より複雑なアーキテクチャと基盤となるリソースをきめ細かく制御できます。

Amazon EC2 を使用すると、より広範なコンピューティング容量、機能、および他のとの統合のセットにわたってワークロードを設定する柔軟性が高まります AWS のサービス。Amazon EC2 は、オンデマンドの時間単位やコミットベースの低価格など、より柔軟な購入オプションを提供します。Amazon EC2 の一般的なデプロイでは AWS のサービス、データベースやロードバランサーなど、それぞれに独自の料金モデルと設定の詳細がある他のを使用する必要があります。

Compute and block storage

コンピューティングストレージとブロックストレージ

Lightsail は、2 つの vCPUs、512 MiB のメモリ、20 GB の SSD ストレージ、最大 16 vCPUs、64 GiB のメモリ、1280 GB の SSD ストレージのインスタンスサイズに複数のオプションを提供します。Lightsailコンピューティングインスタンスには、寛大で無料のデータ転送割り当てが含まれており、固定された予測可能な料金で請求されます。

Elastic Beanstalk と Amazon EC2 は、1 ~ 100 個の vCPUs と 1000 個の GiB RAM を持つ、あらゆるワークロードをサポートする数百のインスタンスタイプをサポートします。複数の個別サイズのストレージボリュームを、さまざまなパフォーマンス階層を持つ Elastic Beanstalk インスタンスと Amazon EC2 インスタンスにアタッチできます。Elastic Beanstalk と Amazon EC2 はどちらもスポットインスタンスと Graviton ベースのインスタンスをサポートし、コスト効率の高いスケーリングと高性能コンピューティングを可能にします。

Container deployments

コンテナのデプロイ

Lightsail コンテナは、0.25 vCPUs と 512 MiB RAM の AWS コンピューティングインスタンスにパブリックコンテナイメージを 4 つの vCPUs と 8 GiB RAM にデプロイする簡単な方法を提供します。すべての Lightsail コンテナデプロイには、固定月額料金で 500 GB のデータ転送が付属しています。

Elastic Beanstalk は、個々の Docker コンテナ、Docker Compose を使用する複数のコンテナを実行したり、コンテナを実行している Amazon EC2 インスタンスを管理およびスケーリングする

フルマネージドコンテナオーケストレーションサービスである Amazon ECS にデプロイしたりできます。

コンテナは、Amazon EC2 で自己管理することも、Amazon ECS、Amazon EKS、App Runner、Elastic Beanstalk、Lambda などのフルマネージド AWS コンテナサービスにデプロイすることもできます。これらのサービスは、パブリックイメージとプライベートイメージの両方、より柔軟な時間単位またはコミットベースの請求、より大きな垂直および水平スケーリング機能をサポートします。

Load balancing

負荷分散

Lightsail は、少量のウェブトラフィック (1 時間あたり最大 5 GB および 400,000 接続) 用のシンプルな HTTP または HTTPS ロードバランサーを提供します。Lightsail ロードバランサーは証明書管理を処理し、固定月額料金で利用できます。

Elastic Beanstalk 環境の [負荷分散を有効に](#)して、環境専用の [Elastic Load Balancing](#) load Balancer を作成できます。Elastic Beanstalk は、このロードバランサーを完全に管理し、セキュリティ設定を処理し、環境の終了時にロードバランサーを終了します。

また、複数の Elastic Beanstalk 環境間でロードバランサーを共有することもできます。共有ロードバランサーを使用すると、環境ごとに専用のロードバランサーを使用する必要がなくなり、運用コストを節約できます。Elastic Beanstalk は、Classic Load Balancer、Application Load Balancer、および Network Application Load Balancer タイプをサポートしています。

Amazon EC2 Elastic Load Balancing (ELB) は、より柔軟なオンデマンド料金またはコミット料金を使用して、より広範でスケーラブルなロードバランサーオプションを提供します。Amazon EC2 ロードバランサーは、アプリケーション (HTTP、HTTPS、WebSockets) トラフィックとネットワーク (TCP、UDP) トラフィックの両方をサポートします。

Content delivery network

コンテンツ配信ネットワーク

ウェブコンテンツのロード時間を短縮するために、Lightsail では、コンテンツ配信ネットワーク (CDN) ディストリビューションをウェブサイトまたはアプリケーションに追加できます。LightsailCDN ディストリビューションは、初年度の 50 GB、200 GB、500 GB を含む 3 つの毎月のデータ転送階層で、固定月額料金で利用できます。

Elastic Beanstalk アプリケーションを作成してデプロイしたら、CloudFront にサインアップし、CloudFront を使用してコンテンツを配信することができます。

Amazon EC2 と Elastic Load Balancing は、Amazon CloudFront CDN (で使用されるのと同じ CDN) と直接連携します Lightsail。CloudFront を直接使用すると、他のオリジン AWS のサービスや外部オリジンとの統合の可能性が高まります。また、 よりも柔軟なオンデマンド料金とコミットベースの料金も提供します Lightsail。

Managed database support

マネージドデータベースのサポート

Lightsail は、4 つの標準および 4 つの高可用性設定のマネージドデータベースを提供します。1 ~ 2 つのプロセッサコア、1 GiB ~ 8 GiB の RAM、40 GB ~ 240 GB のストレージがあります。Lightsail データベースには、予測可能な固定月額料金が請求されます。

Elastic Beanstalk によって、[Amazon Relational Database Service \(Amazon RDS\)](#) との統合ができます。Elastic Beanstalk を使用して、MySQL、PostgreSQL、Oracle、または SQL Server データベースを既存または新規の環境に作成時に追加できます。データベースインスタンスを追加すると、Elastic Beanstalk からアプリケーションに接続情報が提供されます。これは、データベースのホスト名、ポート、ユーザー名、パスワード、およびデータベース名の環境プロパティを設定します。Elastic Beanstalk の外部で管理されている外部データベースに接続することもできます。これにより、統合データベースではサポートされていないデータベースタイプを使用できます。このオプションでは、追加のセキュリティグループと接続文字列の設定が必要になります。

Amazon EC2 は、Amazon DynamoDB などの Amazon RDS および NoSQL サービスと直接連携します。Amazon RDS は、2 から数十の vCPUs の固定インスタンスタイプ、数千の GiB RAM、無制限のストレージ、シームレスにスケーラブルなサーバーレスオプションなど、よりスケーラブルで広範な設定を提供します。

主な決定要因に基づいて Amazon Lightsail、AWS Elastic Beanstalk、Amazon EC2 を比較する決定表を次に示します。

条件	Amazon Lightsail	AWS Elastic Beanstalk	Amazon EC2
に最適	シンプルなアプリケーション、小規模なデプロイ	自動デプロイのウェブアプリケーション	インフラストラクチャを完全に制御する
使いやすさ	非常に簡単で簡素化された UI、事前設定済みインスタンス	最小限のセットアップで簡単にマネージド型のデプロイ	複雑、手動セットアップと管理が必要
スケーラビリティ	小規模なワークロード向けに設計された、制限付きの自動スケーリング	自動スケーリングをサポートしますが、EC2 ほど詳細ではありません	完全にカスタマイズ可能な自動スケーリング
カスタマイズ	制限付き設定オプション	プラットフォームの選択による中程度のカスタマイズ	OS、ネットワーク、リソースを完全に制御する
料金	固定料金、予算フレンドリ	基盤となる EC2 の料金を支払うが、ある程度の自動化	Pay-as-you-go。管理ミスがあると高価になる可能性があります
パフォーマンス	低～中程度のワークロードに最適	自動スケーリングを使用するウェブアプリケーションに最適	高性能でコンピューティング負荷の高いワークロードに最適
管理	フルマネージド、最小限のメンテナンス	マネージドデプロイ、ただしモニタリングが必要	完全にセルフマネージド型、専門知識が必要
サポートされている言語	制限あり、一般的なスタック (LAMP、Node.js など) で最適に動作します	複数のランタイム (Node.js、Python、Java、.NET など) をサポート	サポートされている OS とランタイム

条件	Amazon Lightsail	AWS Elastic Beanstalk	Amazon EC2
Integration	AWS サービスとの限定的な統合	優れた AWS 統合 (RDS、S3、CloudWatch)	完全な AWS 統合
セキュリティ	基本的なセキュリティ機能、管理が簡単	セキュリティの自動更新でもモニタリングが必要	セキュリティ設定を完全に制御する
ユースケースの例	個人ブログ、小さなウェブサイト、MVPs、プロトタイプ	ウェブアプリケーション、APIs、SaaS プラットフォーム	大規模なアプリケーション、データベース、カスタムネットワーク

決定ガイドライン:

- 最小限のセットアップでシンプルで予算に優るソリューションが必要な場合は、Lightsail を選択します。
- ある程度の制御とスケーラビリティを備えた簡単なアプリケーションデプロイが必要な場合は、Elastic Beanstalk を選択します。
- インフラストラクチャ、高性能、またはカスタム設定を完全に制御する必要がある場合は、EC2 を選択します。

使用アイテム

これらのサービス (およびサポート AWS ツールとサービス) が何に最適化されているかを学習したので、それらの最適な使用方法をより深く掘り下げることができます。

Amazon Lightsail

- Amazon Lightsail とは

の仕組みやメリットAmazon Lightsailなど、に関する詳細な説明をご覧ください。このガイドには、の使用を開始Lightsailして、ニーズに合わせて設定するためのstep-by-stepガイダンスも含まれています。

[ガイドを見る](#)

- Lightsail コンテナサービスイメージの作成

Dockerfile を使用してローカルマシンにコンテナイメージを作成する方法について説明します。その後、Lightsail コンテナサービスにプッシュしてデプロイできます。

[チュートリアルを使用する](#)

- Amazon Lightsail リソースセンター

Lightsail チュートリアル、動画、コアコンセプトドキュメントへのリンクをご覧ください。

[リソースセンターにアクセスする](#)

Elastic Beanstalk

- Elastic Beanstalk とは

の概要を取得します AWS Elastic Beanstalk。このガイドでは、サービスの概要だけでなく、サービスの使用を開始する方法と、主要な機能とその使用方法について詳しく説明します。

[ガイドを見る](#)

- Elastic Beanstalk の開始方法

の AWS Elastic Beanstalk 仕組みを理解するため、このチュートリアルでは Elastic Beanstalk アプリケーションの作成、探索、更新、削除について説明します。完了までの所要時間は 1 時間未満です。

[チュートリアルを使用する](#)

- Elastic Beanstalk コマンドラインインターフェイスを設定する

step-by-step チュートリアルでは、Elastic Beanstalk コマンドラインインターフェイス (EB CLI) を設定します。

[チュートリアルを使用する](#)

Amazon EC2

- Amazon EC2 とは

Amazon EC2 の概要について説明します。このガイドでは、サービスの概要だけでなく、サービスの使用を開始する方法と、主要な機能とその使用方法について詳しく説明します。

[ガイドを見る](#)

- Amazon EC2 インスタンスタイプ

EC2 インスタンスを起動するときは、指定した インスタンスタイプ によって、インスタンスに使用するホストコンピュータのハードウェアが決まります。インスタンスタイプごとに、コンピューティング、メモリ、およびストレージの機能が異なり、これらの機能に基づいたインスタンスファミリーにグループ化されています。このガイドでは、EC2 インスタンスタイプについて説明します。

[ガイドを見る](#)

- Amazon EC2 スポットインスタンスを使用した Amazon EC2 Auto Scaling

起動テンプレートで Amazon EC2 Auto Scaling を使用してステータスで耐障害性のあるワークロードを作成し、Amazon EC2 スポットインスタンスをリクエストする方法について説明します。

[チュートリアルを始める](#)

ドキュメント履歴

次の表に、この決定ガイドの重要な変更点を示します。このガイドの更新に関する通知については、RSS フィードをサブスクライブできます。

変更	説明	日付
コンテンツの更新	、Elastic BeanstalkLightsail 、Amazon EC2 の選択として Elastic Beanstalk サービスに 関するコンテンツを追加しま した。	2025 年 2 月 17 日
コンテンツの更新	Lightsail サポートされている インスタンスタイプに更新し ます。	2024 年 7 月 23 日
コンテンツの更新	導入セクションと相違セク ションを強化し、Lightsail と EC2 を選択するためのコンテ ンツを改善しました。	2024 年 4 月 22 日
初回リリース	決定ガイドの初回リリース。	2024 年 4 月 5 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。